

平成30年12月20日会議概要

第1 日時

平成30年12月20日（木）午前9時から午後1時50分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、警務部長、生活安全部長、刑事部長、警備部長、京都市警察部長、総務部次長、地域部次長、交通規制課長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(1) 総務・警察常任委員会

- **（平林委員）** 12月13日に総務・警察常任委員会に出席しました。警察から2件の報告がありました。1件目は、「京都府犯罪のない安心・安全なまちづくり計画」の骨子（案）であり、委員から、犯罪者の社会復帰については、京都ジョブパーク等における就労支援の検証を含めて、府と警察がしっかりと連携して取り組んでほしいなどの要望がありました。2件目は、「京都ストーカー相談支援センター開設後1年の状況」であり、委員から、安心して相談できる体制を強化してほしいなどの要望がありました。
- **（長谷委員）** 12月14日の総務・警察常任委員会に出席しました。委員から性犯罪の被害者支援、信号機の運用、特殊詐欺被害の実態や検挙状況等について質問がありました。

(2) 府下一斉年末特別警戒

- **（石川委員長）** 12月14日に府下一斉年末特別警戒を視察・激励しました。当日は寒さに加え、雨が降るなど天候に恵まれませんでした。知事や府議会議長のほか警察幹部が歩いて視察・激励に回られた様子は市民の皆さんの目に留まったものと思います。
- **（渡部委員）** 現場に出向く機会があまりない公安委員としては、大変意義のあるものでした。また、視察・激励を通じて府議会議員の先生方、地元の防犯協会や交通安全協会の役員の方々と、防犯等に関する情報共有を行うことができ良かったと思います。
- **（平林委員）** 地域住民の連帯が薄まる中、年末警戒には地域の防犯ボランティアなど多くの方々が従事されており、その様子を見られた住民の方々に連帯意識の大切さを訴えることができたものと思います。また、警察官による検問状況を視察させていただきましたが、非常に寒い中、使命感に燃えて職務を執行されている姿に頭が下がる思いでした。

2 報告事項

(1) 府警あんぜん広場1月号の発行について

総務部次長から、府警あんぜん広場1月号に、警察本部長の新年の挨拶、「京都平安策2019」、京都府警察年頭視閲式、第64回警察美術展などを掲載する旨の報告があった。

(2) 洛和会ヘルスケアシステムとの「地域見守り活動に関する協定」締結について

生活安全部長から、防犯CSR（防犯分野における企業の社会貢献）の一環として行う企業の地域見守り活動を支援し、子供や女性及び高齢者を始めとする地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため、平成30年12月19日、訪問看護サービス等を展開する洛和会ヘルスケアシステムと「地域見守り活動に関する協定」を締結したことなどについて報告があった。

(3) 年末年始における雑踏警備の実施について

地域部次長から、平成30年12月31日から平成31年1月3日までの間に実施される八坂神社、伏見稲荷大社等の神社・仏閣における初詣の雑踏警備について報告があった。

石川委員長から、「平成最後の年末年始の行事ということで、かなり人出が増えるのではないかと思う。緊張感をしっかり保持して不測の事態に備えていただきたい。」との発言があった。

(4) 北警察署管内における夫婦間の殺人事件の発生について

刑事部長から、平成30年12月17日、京都市北区の居宅において、夫が妻の胸部等を包丁で刺すなどした夫婦間における殺人事件が発生した旨の報告があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 洛和会ヘルスケアシステムとの協定に基づく活動については、ドライブレコーダーが登載された同法人の訪問看護等に用いられる車両により、地域コミュニティを走行することで、業務を通じて地域の見守り活動を行ってもらうものである。最近、交通事故が発生した際、市バスやタクシーのドライブレコーダーに被疑車両が写っているケースが非常に多く、初動活動としてドライブレコーダーのデータを収集することが大変重要になっている。こうした理由から、今回の協定の締結は大変有効であり、今後も同様の協定を推奨していきたい。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 通学路における安全対策等に伴う交通規制の実施について

交通規制課長から、向日町警察署、八幡警察署、南丹警察署及び福知山警察署管内にある国道、府道及び市道について、通学路の安全確保及び安定した交通流の確保と危険防止を目的として、最高速度等の交通規制を見直す旨の説明があり、審議の上、原案どおり規制を決定した。

(2) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、12件の行政処分を決定した。

(3) 認知機能検査関係規定の整備について

運転免許課調査官から、平成29年3月に施行された改正道路交通法に規定の認知機能検査については、一般通達に基づいて運用してきたところであるが、同法が施行されて以降、検査の実施要領等に変更が認められないことから、同通達内容を規則及び例規通達に盛り込むことについて説明があり、審議の上、規則及び例規通達の一部改正を了承した。

(4) 公安委員会宛て苦情等申出について

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、2件分の調査結果及び通知案について説明があり、審議の上、双方の通知内容を決定した。

(5) 直接聴聞に係る行政処分について

生活安全企画課担当補佐から、平成30年12月13日に実施された風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（1件1人）に対する直接聴聞の結果について説明があり、審議の上、行政処分を決定した。

2 報告事項

(1) 平成29年度京都府留置施設視察委員会の活動概況及び意見に対する留置業務管理者が講じた措置の公表について

留置管理課長から、平成29年度の京都府留置施設視察委員会の活動概況及び委員会意見に対して講じた措置を、京都府警察ホームページに掲載し公表する旨の報告があった。

(2) 平成31年中における犯罪抑止対策の推進について

生活安全部次長から、平成31年中における犯罪抑止対策の概要について報告があった。

(3) 京都府警察音楽隊「第29回定期演奏会」アンケート結果について

広報応接課次席から、毎年開催している京都府警察音楽隊の定期演奏会を更に充実させるため、平成30年11月11日に京都コンサートホールで開催した京都府警察音楽隊「第29回定期演奏会」の際、参加者に対して行ったアンケート結果について報告があった。

(4) 福島県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備第一課担当補佐から、警察法第60条1項の規定により、福島県公安委員会から京都府公安委員会になされた援助の要求に対する京都府警察職員の派遣について報告があった。

(5) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。